

英国王立協会副会長等の来訪（報告）

3月28日、英国王立協会（Royal Society）副会長（国際担当）の Dr. Higgins 女史、アジア担当の Dr. Carol Rennie 及び在大阪英国総領事館領事（学術及びイノベーション担当）の Dr. Robert Morini が日本学術会議を訪問し、石倉洋子副会長、北川禎三第3部会員、西ヶ廣渉事務局長と意見交換を行いました。

意見交換では、日本学術会議より、「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議」やアジア学術会議など日本学術会議の活動や、会員選出方法、総合科学技術会議と日本学術会議の関係等について説明を行い、昨年発出された G8 サミットへ向けての各国学術会議の共同声明や次回 G8 サミットへ向けて4月にモスクワで行われる予定の G8 学術会議の会合等について話し合われました。

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）  
(Tel:03-3403-5731、i252@scj.go.jp)

-----

日本学術会議主催公開講演会の開催（報告）

期 日：3月30日（木）

場 所：日本学術会議講堂

テーマ：「技術者の倫理と社会システム

- 耐震強度偽装事件・橋梁談合事件等の学術的検討 - 」

同講演会は、耐震強度偽装事件や橋梁談合事件など、相次いで発覚した一連の不祥事を防止するためには、倫理を守ることに對する社会システムの存在が重要という認識から開催されたものです。

浅島誠副会長の開会挨拶に始まり、村上周三慶応義塾大学教授（第3部会員）の司会により、池田駿介東京工業大学教授（第3部会員）、大島一哉（株）建設技術研究所社長、福井秀夫政策研究大学院大学教授、仙田満東京工業大学名誉教授（第3部会員）、友澤史紀日本大学教授、小幡純子上智大学教授の各氏による講演が行われました。

休憩をはさみ、会場の参加者から寄せられた質問をもとにパネルディスカッ

ションが行われました。当日は、天候にも恵まれ、約 140 名の参加者が集い、盛会裏に終わりました。

#### 北海道地区会議主催公開学術講演会の開催（報告）

期 日：3月14日（火）

場 所：北海道大学学術交流会館小講堂（札幌市）

標記講演会は、「学術研究と地域振興 - 新生日本学術会議の役割 - 」というテーマで開催され、約 100 名の方が参加されました。

この講演会は、基調講演とパネルディスカッションとの二部構成で行われました。まず、黒川清会長が「学術会議とは何か？」という題で、続いて、山内皓平第二部会員が「フィールド科学と地域振興 - 水産学の例 - 」という題でそれぞれ講演を行いました。次に、パネルディスカッションが井上達夫第一部会員の司会によって行われ、今井浩三第二部会員及び岸浪建史第三部会員がそれぞれの専門の立場から私見を述べられた後、黒川清会長、山内皓平第二部会員及び会場の参加者も加わった上で有意義な議論が交わされました。

#### 九州・沖縄地区会議学術講演会の開催（報告）

期 日：3月10日（金）

場 所：鹿児島大学稲盛会館（鹿児島市）

標記講演会は、日本学術会議九州・沖縄地区会議の主催により、『「食の安心・安全」 - 大学が果たす役割と方向性 - 』をテーマに開催されました。

講演会では、九州・沖縄地区会議代表幹事の今西裕一郎会員、鹿児島大学の永田行博学長の挨拶のほか、鹿児島大学農学部の守田和夫教授を始めとする6名の方々によるパネルディスカッションが行われ、「食の安心・安全」に関して学術的な観点から大学の取り組むべき方向性などについて、活発な討論が行われました。

当日は、一般市民、鹿児島大学の学生など約 100 名の参加者が集い、盛会裏に終わりました。

#### 地域振興・中部地区フォーラムの開催（報告）

期 日：3月3日（金）

場 所：金沢大学自然科学棟（金沢市）

テーマ：大学の知的資源と地域イノベーション

第20期最初の地域振興フォーラムが「大学の知的資源と地域イノベーション」をテーマに、北陸随一の都市、古都金沢において開催されました。

冒頭、中部地区会議代表幹事の後藤第三部会員の挨拶の後、馳浩文部科学副大臣が来賓挨拶を行い、続いて黒川清日本学術会議会長が「学術会議とは何か？」と題して挨拶を行いました。引き続き、阿部博之総合科学技術会議議員（元東北大学総長）が「第3期科学技術基本計画と地域イノベーション」、徳永保文部科学省大臣官房審議官（高等教育局担当）が「グローバルな知の拠点としての大学とその地域貢献」、及び林勇二郎第三部会員（金沢大学長）が「大学改革と地域振興」と題する講演を行いました。

休憩の後、松井信行名古屋工業大学長、児嶋眞平福井大学長を始めとする東海北陸地区の産学官の関係者6名によりパネルディスカッションを行いました。金沢市を含めた北陸地域広域の将来について語る熱のこもった討論会となり、聴講者も214名に達する大盛況でした。

【問い合わせ先】日本学術会議事務局企画課広報係

(Tel:03-3403-1906、p227@scj.go.jp)

=====

日本学術会議ニュースメールは、日本学術会議第19期会員、第20期会員・連携会員、日本学術会議協力学術研究団体などに配信しています。転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

また、メールアドレスの変更等がありましたら、事務局（p228@scj.go.jp）まで御一報いただければ幸いです。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34